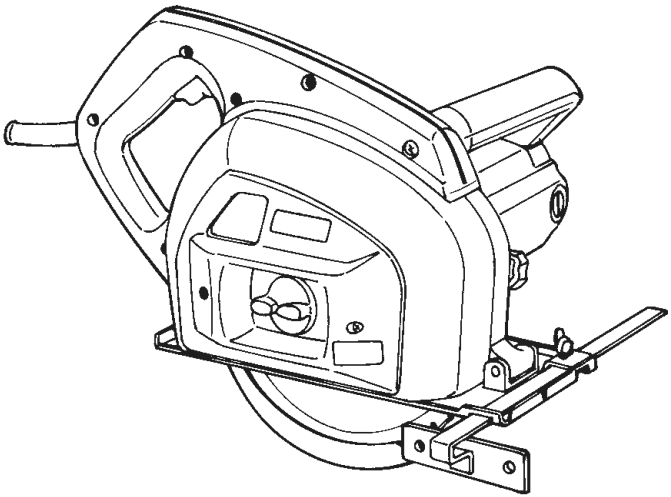
RYOBI®

防じんスチールカッタ(ブレーキ付き)

SC-180

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

・安全上のご注意…… 1
・各部の名称・仕様…… 6
・付属品、別販売品・用途…… 7
・操作方法…… 8
・保守と点検……13

二重絶縁

このたびは、リョービ防じんスチールカッタをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の ⚠警告、⚠注意 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
なお、 ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

⚠ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   ・電動工具は雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
   ・作業場は十分に明るくしてください。
   ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
   ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
   (例えばパイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
   ・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

⚠ 警 告

・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。
・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
・指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので、着用しないでください。
・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。
・作業時は保護めがねを使用してください。
また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。
・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

11. コードを乱暴に扱わないでください。
・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

12. 加工するものをしっかり固定してください。
・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

14. 電動工具は注意深く手入れをしてください。
・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には、交換してください。
・握り部は常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠ 警 告

15. 次の場合は電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・使用しない、または、修理する場合。
・刃物、といし、ビットなどの付属品を交換する場合。
・その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
17. 不意な始動は避けてください。
・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・プラグを電源に差込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して、慎重に作業してください。
・常識を働かせてください。
・疲れている場合は使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
・スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
・本取扱説明書、およびリョービカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので、使用しないでください。
22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
・本製品は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。
・修理は必ずお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

●防じんスチールカッタご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、防じんスチールカッタをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
   ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。
2. ロアガードは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
   金属用チップソーが露出したままですと、けがの原因になります。
3. 金属用チップソーは、指定のものを使用してください。
   機械の能力に合わないだけでなく、けがの原因にもなります。
4. ご使用時は、必ずダストカバーを取付けてください。
   ・取付けていないと、切断時の切り粉が外部に飛散しけがなどの原因になります。
5. 切断する材料は安定性の良い台に置いてください。
   ・台が不安定ですと、けがの原因になります。
6. 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みで金属用チップソーが挟み付けられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
   ・金属用チップソーが挟み付けられると、けがの原因になります。
7. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。また、切り落とした材料がチップソーと接触し飛散するのを防止するために、台の高さは、チップソーの出ししろの3倍以上にしてください。
   ・このような台がないとけがの原因になります。
8. 使用中は、本体を確実に保持してください。
   ・確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
9. 使用中は、金属用チップソーや回転部、切断部に手や顔を近づけないでください。
   ・けがの原因になります。
10. 途中で切断位置を止める場合は、必ず金属用チップソーが回転したままの状態で本体を持ち上げ、刃先が切断材料から離れてからスイッチを切ってください。なお、金属用チップソーが回転したまま本体を後ろへは引かないでください。強い反発力が生じ、けがの原因にないます。
11. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、または、リョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
    ・そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 警 告

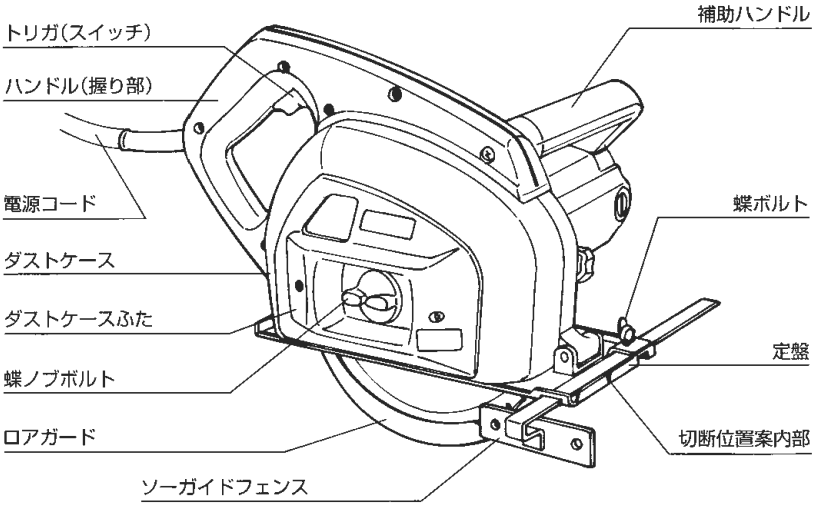
12. 誤って落としたり、ぶつけた時は、金属用チップソーや機体に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂・変形があると、けがの原因になります。

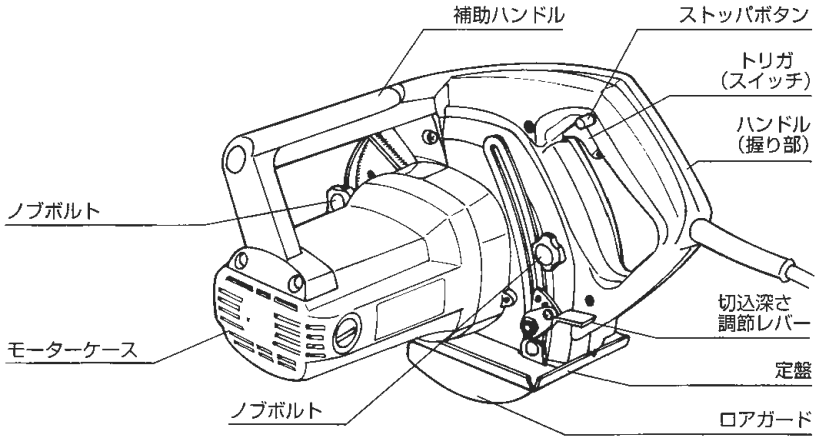
⚠ 注 意

1. 刃物類（金属用チップソー）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 金属用チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
・金属用チップソーが破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向に金属用チップソーを向けて回転させ、機体の振動や金属用チップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。
異常があるとけがの原因になります。
5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
・機体を落としたりし、けがの原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
・強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
・手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
8. 回転する金属用チップソーで、コードを切断しないように注意してください。
・感電の恐れがあります。
9. 切りくずなどを取出すときは、絶対に素手では取出さないでください。
けがの原因になります。
10. 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
・不意の接触などで、けがの原因になります。
11. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
また、コードを引っかけたりしないでください。
・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
12. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・けがの原因になります。

（注）
電源が離れていて延長コードが必要なときは、機械を最高の能率で、故障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

■各部の名称





■仕様

電源	単相・交流100V・50/60Hz
電流	14A
消費電力	1,300W
回転数	no. 4,300min^{-1}(回/分)
金属用チップソー	外径180×内径20mm
最大切込み深さ	60mm
機体寸法	長さ325×幅270×高さ267mm
質量	4.1kg
コード長さ	5m

■付属品

・金属用チップソー（鉄工用・外径180㎜×刃厚1.85㎜×内径20㎜）
・スパナ（22㎜）
・ボックススパナ（13㎜）
・ソーガイドフェンス

■別販売品

・金属用チップソー（鉄工用・外径180㎜×刃厚1.85㎜×内径20㎜）
・金属用チップソー（ステンレス用・外径180㎜×刃厚1.8㎜×内径20㎜）

⚠ 注 意
・金属用チップソーには、それぞれ特性があります。 効率よくご使用いただくために、次の点にご注意ください。

1．金属用チップソー（鉄工用）
切断できる材料
・鉄工材料
平鋼（厚さ1.2㎜程度）
床用鋼板（厚さ6㎜以下）
鉄筋（径16㎜以下）
デッキプレート、各種形鋼

注）・連続切断はしないでください。
モーター焼損やダストカバー過熱の原因になります。
・チップが摩耗した刃物は使用しないでください。
モーター焼損の原因になります。

2．金属用チップソー（ステンレス用）
切断できる材料
・ステンレス鋼（SUS304）の薄肉軽量材
（厚さ2㎜まで）
板材、アングル、パイプ

注）・厚さが3㎜以上の材料やムク材は切断しないでください。
刃物寿命が極端に低下します。
・ステンレス以外は切断しないでください。
切断性能が低下します。

■用途

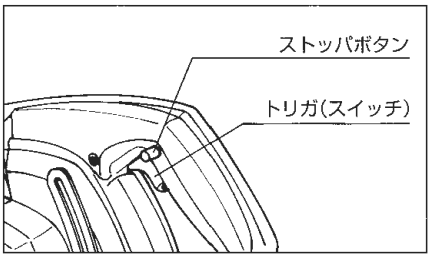
鉄工材料 、鉄筋、デッキプレート、ステンレス鋼（薄肉軽量材、パイプ）などの切断。

■操作方法

●スイッチ

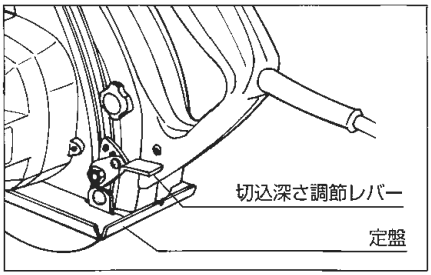
⚠ 警 告
・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
⚠ 注 意
・ブレーキが働くときの反発力に注意してください。機体を落としたりし、けがの原因になります。

・スイッチを切ると金属用チップソーの回転が停止するブレーキ付となっています。
・スイッチ操作はトリガを引くと入り、離すと切れます。
また、トリガを引いた状態でハンドル（握り部）側面のストッパボタンを押すと、トリガから手を離してもスイッチは入ったままになります。
この場合、再度トリガを引くとストッパボタンは解除されます。

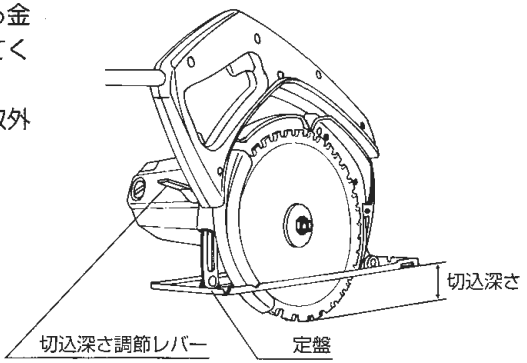


●切込深さの調節

・切込深さ調節レバーをゆるめますと定盤が上下に移動します。
・お望みの切込深さに位置を決め、切込深さ調節レバーをしっかりと締付けて固定してください。



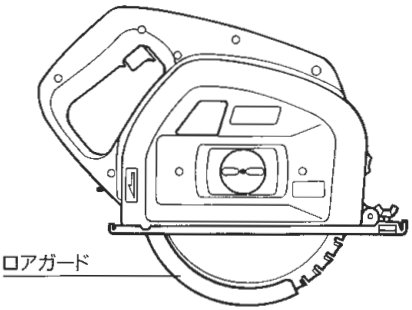
・切込深さ寸法は、定盤面から出ている金属用チップソーの寸法を測って決めてください。
＊図は説明のため、ダストカバーを取外した状態です。



●ロアガード

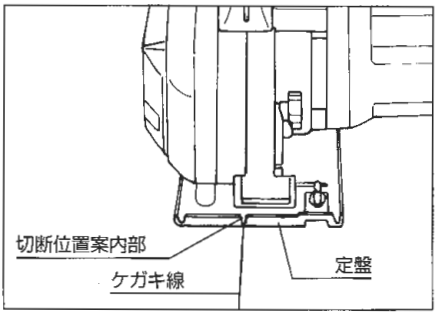
⚠ 警 告
・ロアガードは固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。 金属用チップソーが露出しますと、けがの原因になります。

・事故を未然に防ぐため、ロアガードを付けてあります。
・作業中はロアガードが自動的に持上がり、作業が終わる時は自動的に刃先を覆いますので、安全に作業が行えます。



●切断位置

・定盤先端の切断位置案内部をケガキ線に沿わせて加工してください。

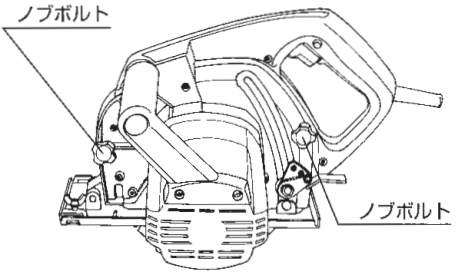


●金属用チップソーの取付け、取外し

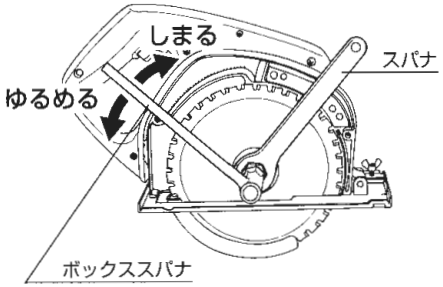
⚠ 警 告
・金属用チップソーの取付け、取外しの前に必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。 ・金属用チップソーは指定（外径180×内径20mm）のものをご使用ください。 ・金属用チップソー取付け後は、スパナおよびボックススパナを取外し、金属用チップソーがスムーズに回転することを確認した後、スイッチを入れるようにしてください。ボックススパナなどが飛ぶなどしてけがの原因になります。
⚠ 注 意
・金属用チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。 金属用チップソーが破損し、けがの原因になります。 ・金属用チップソーの取付けは、下記の指示に従って確実に取付けてください。 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

（取外し）

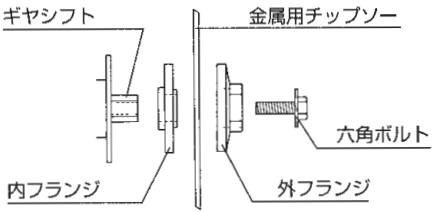
・本体裏面のノブボルト2本をゆるめ、ダストケースを外してください。



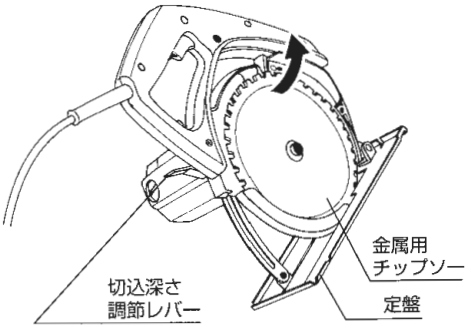
・スパナで外フランジを固定し、ボックススパナで六角ボルトを左に回してゆるめます。



・六角ボルト、外フランジ、金属用チップソーの順で取外します。



・切込深さが一番浅い状態まで定盤を移動させてください。
金属用チップソーは、矢印の方向に持ち上げるようにして外してください。



注）・金属用チップソーの取付けは、取外しと逆の手順で行います。
・取付ける前に、フランジ部分や六角ボルトに付着している切りくずや粉じんなどを取り除いてください。
・金属用チップソーの刃の向きは、刃の表面に表示されている矢印とダストケースに表示の矢印とを同じ方向に合わせてください。

●切断の要領

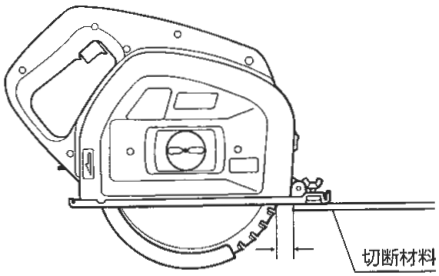
⚠ 警 告

・作業時は、保護めがねを使用し、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。(保護めがね、防じんマスクは市販品をご利用ください。)
・ロアガードは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
・ダストケースは、絶対に取外したままで使用しないでください。
金属用チップソーが露出しますと、けがの原因になります。
・使用中は、金属用チップソーや回転部、切粉の排出部に手や顔を近づけないでください。けがの原因になります。
・切断に際しては、必ず本機のハンドル（握り部）と補助ハンドルを両手で確実に保持し、切断作業を行ってください。
保持がゆるいと、切断中の反発から機械が振られ、けがなどの原因になります。
・切断途中で作業を中断するときは、金属用チップソーが回転したまま本体を持ち上げ、刃先が切断材料から離れてからスイッチを切ってください。
また、金属用チップソーが回転したまま本体を後ろへは引かないでください。
強い反発力が生じ、けがの原因になります。

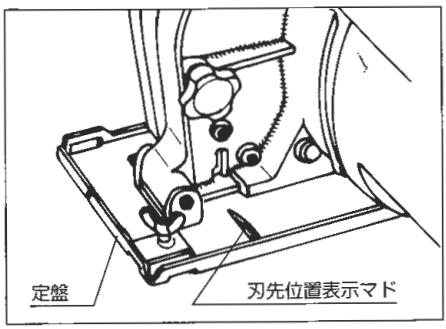
⚠ 注 意

・金属用チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。金属用チップソーが破損し、けがの原因になります。
・使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。

・切断材料の上に定盤面をのせ、ケガキ線に切断位置案内部を合わせてください。
・金属用チップソーが切断材料に触れない状態でスイッチを入れます。
・金属用チップソーの回転が上がり、一定の回転になりましたら定盤面を切断材料に密着させ、静かに本体を前方へ押し進め、切断を行います。



・材料を途中まで切断するときは、定盤前側・上面の刃先位置表示マドを参考にご利用ください。
(最大切込み深さの場合の表示)
・切断終了後、金属用チップソーを切断材料から外してスイッチを切ります。

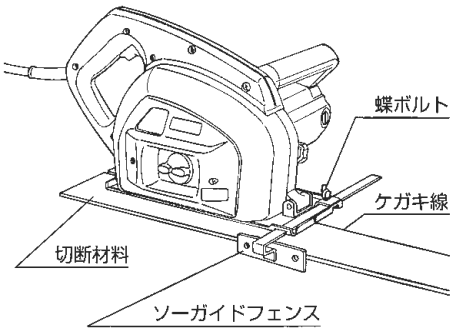


・途中で切断位置を止める場合は、必ず金属用チップソーが回転したままの状態で本体を持ち上げ、刃先が切断材料から離れてからスイッチを切ってください。
なお、金属用チップソーが回転したまま本体を後ろへは引かないでください。

（作業のコツ）
・切断をスムーズに行ったり、刃持ちを良くするためには一定の早さの送りを保つことが大切です。

●ソーガイドフェンスの応用

・正確な直線の側面の材料に対しては、ケガキ線を引く必要が無く、同寸法の加工が連続してできます。
・切断幅寸法は、金属用チップソーとソーガイドフェンスの案内面までの寸法によって決められます。
・ソーガイドフェンスは左右どちらにでも付けられます。
・取付けは、寸法を合わせた後、蝶ボルトでソーガイドフェンスを固定します。

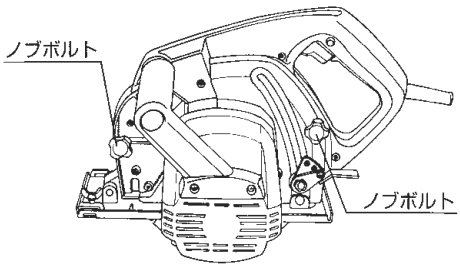


●ダストケースの脱着

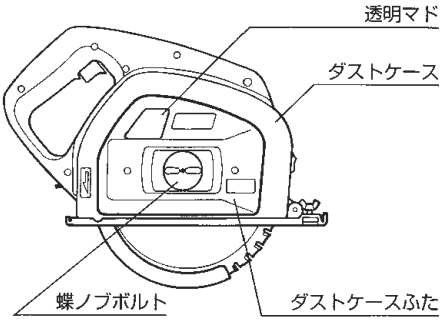
（切りくずの取出し）

⚠ 注 意
・切りくずなどを取出すときは、絶対に素手では取出さないでください。 けがの原因になります。

・本体裏面のノブボルト２本をゆるめると、ダストケースが外せます。



・ダストケース中央の蝶ノブボルトをゆるめると、ダストケースのふたが外れます。ふたの透明マドを利用して、内部に貯まった切りくずの量をときどき確認し、ダストケース内部にたまった切りくずを取出してください。



注）・ダストケース内部に切りくずがたまりすぎると、集じん能力が低下します。
早めに取出してください。
・湿った材料を切断した後は、直ちに切りくずなどを取出してください。そのままにしておくとサビや故障の原因になります。

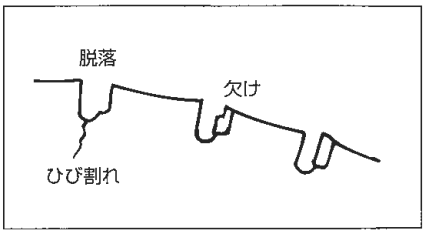
・取付けは、逆の要領で行いますが、ふたやケースの合わせ部の切りくずなどは充分取り除き、確実に取付けてください。

■保守と点検

⚠ 警 告
・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によりけがの原因になります。

●金属用チップソーについて

・切れ味の悪くなった金属用チップソーをそのままご使用になりますと、モーターに無理をかける事になり、また能率も落ちます。早めに新しい金属用チップソーと交換してください。
・金属用チップソーには、鉄工用とステンレス用の2種類があります。
用途に合わせてお選びください。
・作業前には、次の点を確認し、異常があるときは交換してください。
・曲がり
刃物の基板が平面でない。
・ヒビ割れ
刃物の基板部に発生した亀裂。
・欠け、脱落
刃物のチップに部分的にできた大きな欠けや脱落。



●各部取付けネジの点検

・各部を点検し、ネジなどのゆるみがないか確認してください。
もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

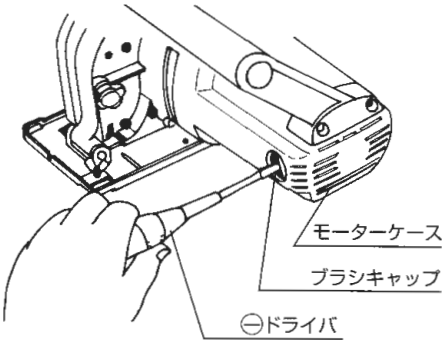
・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。
乾いた布か、石けん水を付けかたくしぼった布で、本体の汚れを取除いてください。
・ガソリン、シンナー、石油類や溶剤での清掃は、本体をいためます。
また、水洗いは絶対にしないでください。

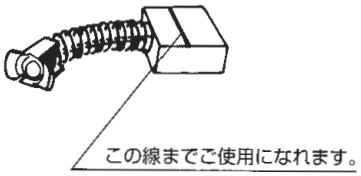
●作業後の保管

・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●カーボンブラシについて

・カーボンブラシは消耗品です。
カーボンブラシは全長の約1/2（線の入った位置）程度まで摩耗しましたら、新しいカーボンブラシと交換してください。
短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと、モーター焼損の原因となることがあります。
・カーボンブラシはブラシキャップを⊖ドライバで取外して交換します。
・カーボンブラシは2個1セットです。
・交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。





●修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品のご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更する場合があります。

RYOBI

発売元
リョービ販売株式会社
本　社　〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)807-1600　FAX.(052)807-1606

23634-940